

令和4年度 第3回
白井市産業振興ネットワーク会議
議案書

期日 令和5年2月17日（金）

場所 白井市役所本庁舎 災害対策室2・3

白 産 第 6 2 号

令和4年6月20日

白井市産業振興ネットワーク

委員長 鈴木 雅之 様

白井市長 笠井 喜久雄



白井市産業振興ネットワークへの諮問について

このことについて、白井市産業振興条例第8条2項の規定に基づき、下記のとおり諮問します。

記

1. 雇用労働支援事業について
2. 事業継続力強化支援計画について

議案 1

雇用労働支援事業について（諮問継続）

雇用労働支援事業について

1 雇用労働支援事業とは

第5次総合計画の重点戦略事業に雇用労働支援事業があり、事業の目的としては、求職者の就業及び地元企業への雇用を促進するとともに、労働環境を改善としている。具体的には市役所内に配置している無料職業紹介所において職業紹介を行うとともに、関係機関との連携による若い世代を対象とした就職支援セミナーや就職マッチングイベント等を開催している。

2 新規手法検討に至る背景

- ・就職マッチングイベント（白井市就職フェア合同企業説明会）と白井工業団地見学ツアーを隔年で行っているものの、参加者が少なく、年齢層が高くなり事業者の求めるものとなっていない現状にある。
- ・求人・求職は常にあり隔年の開催では双方の需要に合わない。

→上記から令和4年度産業振興ネットワーク第一回会議に上記手法の見直しについて諮りました。

3 産業振興ネットワーク第1回会議での主な意見

第1回会議での意見

- ・大学生向け・高校生向け・中学生向けと全く異なるのでターゲットを絞るべき。
- ・高齢者や障がい者というカテゴリーはあるがそれは福祉部門で行うこととして、こちらは若者(高校生)にターゲット。
→そこでニーズのあるものをやるべき。高校生ではなく高校進路担当にしっかりヒアリングすべき。
- ・ニーズのないものはやめるべき。
- ・結局求職者が興味のある事業者が出てこないならイベントを行っても参加者がなく終わってしまう。
- ・今年度は検討にあて来年度から行うとしてもいい。
- ・別添資料1の案2についてはとりあえずPDCAで回してみてもよい。フレキシブルな感じで。ただ普通に行っても人は来ない。人集めにはアイデアが必要。
- ・市はしっかり周知することが求められる。

→上記から近隣高校・大学にヒアリングを行いました。

4 ヒアリング概要

- (1) 対象・・・近隣高校 6 校、近隣大学 2 校
- (2) 方法・・・別添資料 1を携行し、打合せによる聞き取り(高校 4 校・大学 2 校)
コロナ対策等の為、来校不可。添付資料を FAX 送付し返信(高校 2 校)
- (3) 期間・・・令和 4 年 8 月～令和 5 年 1 月
- (4) 提案・・・案 1：白井市無料職業紹介所を活用した就職マッチング
→案 2 をブラッシュアップしたもの
案 2：市役所での会社説明会
→産業振興ネットワーク第 1 回会議で示した案
案 3：白井市内事業者への見学バスツアー(各学校単位)
案 4：白井市内事業者の学内出張セミナー(各学校単位)
→3・4 は過去に行ったことがあるもの

5 ヒアリング内容（別添資料 2）の主な意見のまとめ

高校

【進路・就職活動について】

- ・直近では求人は増えているが、進学が増えて就職希望者は減っている。
- ・人気のある業種は男女ともに小売(販売)。
- ・職住近接（家から公共交通機関で通える範囲）が大事。
- ・想像しにくい仕事は視覚的に訴えるものや見学や体験が必要。

【事業案について】

- ・事業時期
 - ① 事業を行うなら時期は 2 年の 3 学期がいいが学校も企業も忙しいのが難点
 - ② 事業を行うなら 3 年の夏休みの期間がよい。
 - ③ 3 年の夏休みだとある程度行き先が決まっていて履歴書をつくっていたりする一方で春先だと学校のイベントもあるので調整が難しい。
- ・案 1 はハローワークとの調整が必要ではあるが（面接までは必要ない）事業者による説明だけならありがたい。
- ・案 2 は
 - ① 高校生は外部の合同企業説明会は参加することは非常に少ない。
 - ② ありがたいがハローワークや民間業者と被ってしまう。
 - ③ 事業者知名度が大事。BtoC 等で一般的に知られている事業者でないと 1 社の説明会は周知を頑張っても集まらない。
- ・案 3 は
 - ① 他校生徒と同伴も可能。
 - ② 拘束時間が長くて厳しい。
 - ③ 希望職種があることが大事

【高校からの要望について】

- ・ハローワークや間を取り持ってくれる業者、商工会・商工会議所などがあり、自治体に依頼したいことはない。
- ・イベントのような事業は求めている。事業者のチラシやパンフレットのようなものを多く送っていただきたい。
- ・インターンシップを 2 年の夏休みに行いたい。仲介業者に依頼して行っているがどうしても遠いところになってしまう。

大学

【進路・就職活動について】

- ・出来れば自宅から職場に通いたい学生が多い。
- ・エージェント企業が事業者を集めて説明会を行う。白井だけで何か行うより、こういうところに依頼した方がいい。

【事業案について】

- ・案2は
 - ① 白井限定では参加する学生はいないと思う。
 - ② 市という規模で行うのは疑問。県単位くらい大きくなければ興味を示すことはないのでは。
 - ③ 名前だけではどんな仕事をしているかわかる事業者でないと、そこが単独で会社説明会を行っても行くことは中々ない。
- ・案3は
 - ① 拘束時間が長そうで大学にくる時間がまちまちな大学生には向かない。
 - ② 事業としてはいいと思い、他大学と一緒に行うのも可能だが大学生に合わない。
 - ③ 5～7月が就職活動が最も活発化している時期で7月にはほぼ決まっている。行うなら春のうち。

【大学からの要望について】

- ・どういう事業者があるかを知ってもらうため、パンフレットのような案内やサイトに掲載できる情報提供。
- ・インターンシップを受け入れてくれる事業者は貴重
- ・どのような仕事をしているかやインターンシップを受け入れてくれるか等の情報をリスト化して提供してくれると学生に紹介しやすい。

6 ヒアリング内容からの今後の取り進め案

- ・市が示した4案は高校・大学からの反応はあまりよくはなかったものの、案1については悪くはなかったため、期間（例：1年）を決めた上で行ってみる。
- ・就職マッチングイベント（白井市就職フェア合同企業説明会）と白井工業団地見学ツアーはニーズが低いため、取りやめる。
- ・最も求められていることは事業者の情報提供。案1や要望の高かったインターンシップ、今回は反応がよくなかったものの案2～4の参加可否を事業者情報とまとめてリスト化し、高校・大学に提供することを模索していく。
- ・高校・大学からニーズのあるものをフレキシブルに対応していく。今回ヒアリングしていく中で「5年度是非一緒に」という高校もあり、情報交換を今後も行っていく。